

日興・ピムコ・グローバル短期債券ファンド <愛称 債蔵>

追加型投信／内外／債券

交付運用報告書

第89期(決算日2023年12月5日)

第90期(決算日2024年3月5日)

作成対象期間(2023年9月6日～2024年3月5日)

第90期末(2024年3月5日)	
基準価額	9,345円
純資産総額	6,155百万円
第89期～第90期	
騰落率	1.2%
分配金(税込み)合計	30円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記の手順にて閲覧・ダウンロードいただけます。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>

右記URLにアクセス ⇒ ファンド検索機能を利用して該当ファンドのページを表示 ⇒ 運用報告書タブを選択 ⇒ 該当する運用報告書をクリックしてPDFファイルを表示

○運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、「日興・ピムコ・グローバル短期債券ファンド」は、2024年3月5日に第90期の決算を行いました。

当ファンドは、主として、世界各国(日本を含む)の債券などを投資対象とする投資信託証券に投資を行ない、安定した収益の確保を目的として、安定運用を行なってまいりました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

<957259>

日興アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号
www.nikkoam.com/

当運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター 電話番号: 0120-25-1404
午前9時～午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

運用経過

作成期間中の基準価額等の推移

(2023年9月6日～2024年3月5日)



第89期首：9,267円

第90期末：9,345円 (既払分配金(税込み)：30円)

騰落率：1.2% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額は、作成期首(2023年9月5日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として、世界各国(日本を含む)の債券などを投資対象とする投資信託証券に投資を行ない、安定した収益の確保を目的として、安定運用を行なっております。外貨建債券に投資することで発生する為替変動リスクは、投資する2つのファンドで原則フルヘッジを行なうことにより回避することをめざしております。当作成期間中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

<値上がり要因>

- ・組入債券の利息収入を得たこと。
- ・組み入れていた社債などのスプレッド(利回り格差)が縮小したこと。
- ・米国や欧州債利回りが短中期を中心に低下(債券価格は上昇)したこと。

<値下がり要因>

- ・為替ヘッジに伴うコストがマイナスに影響したこと。

1万口当たりの費用明細

(2023年9月6日～2024年3月5日)

項 目	第89期～第90期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	24 円	0.254 %	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(7)	(0.073)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(15)	(0.164)	運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価
(受 託 会 社)	(2)	(0.016)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	0	0.002	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	24	0.256	
作成期間の平均基準価額は、9,291円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

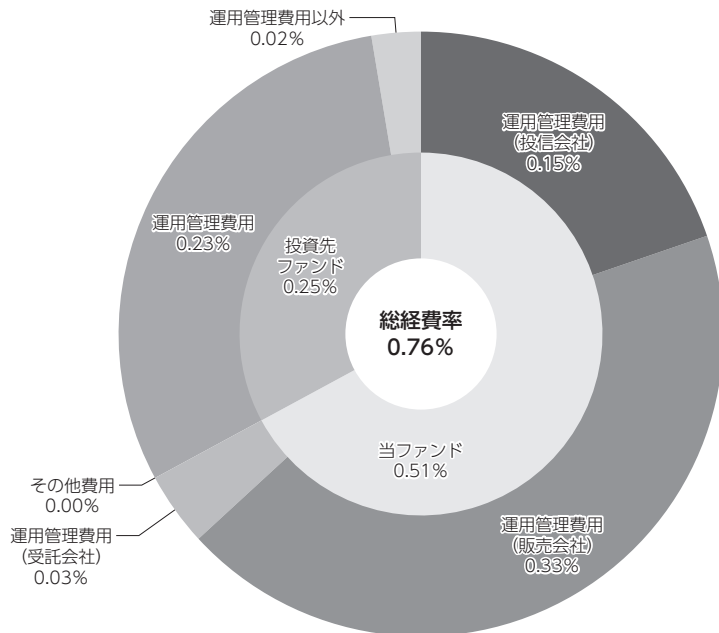
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注) この他にファンドが投資対象とする投資先においても信託報酬等が発生する場合があります。

(参考情報)

○総経費率

作成期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期間の平均受益権口数に作成期間の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.76%です。



(単位: %)

総経費率(①+②+③)	0.76
①当ファンドの費用の比率	0.51
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.23
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.02

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 「その他費用」には保管費用が含まれる場合があります。なお、「その他費用」の内訳は「1万口当たりの費用明細」にてご確認いただけますが、期中の費用の総額と年率換算した値は一致しないことがあります。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（親投資信託を除く。）です。

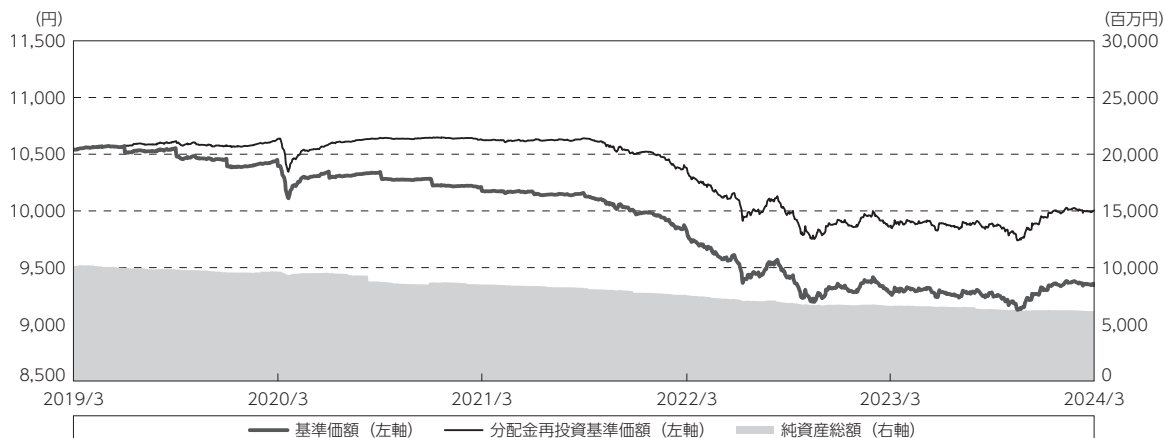
(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2019年3月5日～2024年3月5日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、2019年3月5日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2019年3月5日 決算日	2020年3月5日 決算日	2021年3月5日 決算日	2022年3月7日 決算日	2023年3月6日 決算日	2024年3月5日 決算日
基準価額 (円)	10,542	10,395	10,176	9,820	9,274	9,345
期間分配金合計(税込み) (円)	—	240	210	120	60	60
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	0.9	△ 0.1	△ 2.3	△ 5.0	1.4
純資産総額 (百万円)	10,113	9,611	8,497	7,570	6,628	6,155

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
- (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
- (注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

投資環境

(2023年9月6日～2024年3月5日)

(債券市況)

米国債券市場は、期間の前半、米国景況感の改善が見られるなか、2024年末の政策金利見通しが引き上げられたことやパウエル米国連邦準備制度理事会（F R B）議長が金融引き締めを継続する方針を示唆したことなどを受け、利上げが長期化すると観測から下落しました。しかしその後、米国雇用統計が市場予想を下回ったことや米国インフレ率の鈍化に加え、F R B高官が2024年の利下げについて言及したことなどを背景に早期利下げに対する期待感が高まり、2023年末にかけて大きく上昇しました。期間末にかけて堅調な米国経済指標が相ついで発表されたことなどを受けて再び軟調な展開となったものの、期間を通じて見ると米国債券市場は小幅に上昇しました。

欧州債券市場は、期間の前半、欧州中央銀行（E C B）高官らから追加利上げを継続するとの発言が相ついただことや原油高などを背景にインフレ見通しが上方修正されたことなどを受けて下落しました。その後は、中東情勢緊迫化などを背景に市場におけるリスク回避姿勢が強まったことや域内のインフレ鈍化などを受けて利上げ終了への期待感が高まったことから上昇に転じました。期間を通じて見ると欧州債券市場は上昇しました。

当ファンドのポートフォリオ

(2023年9月6日～2024年3月5日)

(当ファンド)

当ファンドでは、収益性を追求するため、「P I M C Oバミューダ U.S. ロー・デュレーション・ファンド」受益証券および「P I M C Oバミューダ フォーリン・ロー・デュレーション・ファンド」受益証券を高位に組み入れました。外貨建債券に投資することで発生する為替変動リスクは、投資する2つのファンドで原則フルヘッジを行なうことにより回避することをめざしました。

(P I M C Oバミューダ U.S. ロー・デュレーション・ファンド)**(P I M C Oバミューダ フォーリン・ロー・デュレーション・ファンド)**

ポートフォリオの状況については、米国、欧州、英国の金利リスクを多めとしたものの、全体の金利リスクは低位に維持しました。セクター別では、金融機関の社債、米国の非政府系モーゲージ債、新興国債券においてリスク対比で魅力的な銘柄への選択的な投資をしました。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2023年9月6日～2024年3月5日)

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

分配金

(2023年9月6日～2024年3月5日)

分配金は、基準価額水準、市況動向などを勘案し、以下のとおりいたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり、税込み)

項 目	第89期	第90期
	2023年9月6日～ 2023年12月5日	2023年12月6日～ 2024年3月5日
当期分配金	15	15
(対基準価額比率)	0.161%	0.160%
当期の収益	15	15
当期の収益以外	—	—
翌期繰越分配対象額	1,079	1,088

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針**(当ファンド)**

引き続き、原則として、「PIMCOバミューダ U.S. ロー・デュレーション・ファンド」受益証券および「PIMCOバミューダ フォーリン・ロー・デュレーション・ファンド」受益証券に投資を行ない、安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。外貨建債券に投資することで発生する為替変動リスクは、投資する2つのファンドで原則フルヘッジを行なうことにより回避することをめざします。

(PIMCOバミューダ U.S. ロー・デュレーション・ファンド)**(PIMCOバミューダ フォーリン・ロー・デュレーション・ファンド)**

金利戦略については、全体の金利リスク(デュレーション(金利感応度))を低位に維持します。セクター戦略では、財務内容の健全性などを踏まえて金融機関などを中心とした社債の保有を継続します。証券化商品については、バリュエーション(価値評価)面で妙味がある政府系モーゲージ債や底堅い住宅市場に支えられている非政府系モーゲージ債への投資を継続していく方針です。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

お知らせ

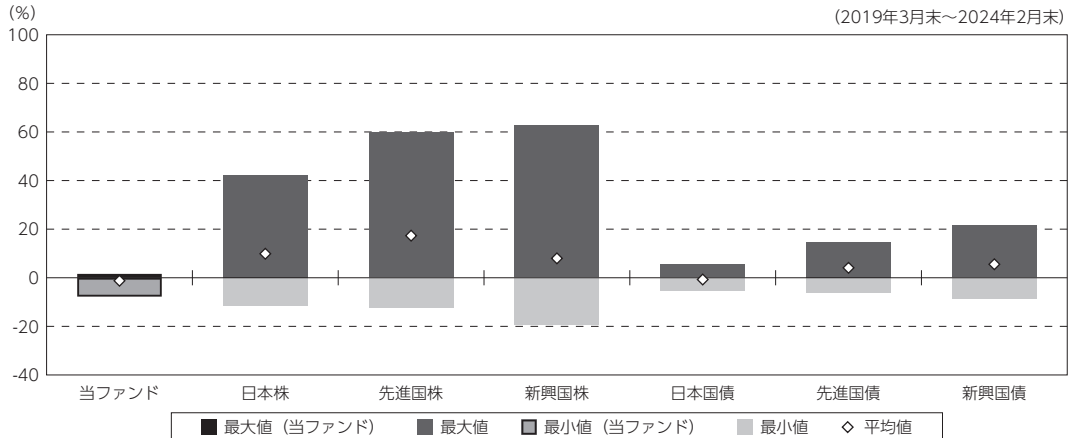
2023年9月6日から2024年3月5日までの期間に実施いたしました約款変更はございません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／債券
信託期間	2001年9月7日から2026年9月4日までです。
運用方針	外国投資信託の受益証券（振替投資信託受益権を含みます。）に投資を行ない、安定した収益の確保を目的として安定運用を行ないます。
主要投資対象	「PIMCOバミューダ U.S. ロー・デュレーション・ファンド」受益証券 「PIMCOバミューダ フォーリン・ロー・デュレーション・ファンド」受益証券 上記の投資信託の受益証券を主要投資対象とします。
運用方法	原則として、「PIMCOバミューダ U.S. ロー・デュレーション・ファンド」受益証券および「PIMCOバミューダ フォーリン・ロー・デュレーション・ファンド」受益証券に投資を行ない、安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。外貨建債券に投資することで発生する為替変動リスクは、投資する2つのファンドで原則フルヘッジを行なうことにより回避することをめざします。また、為替ヘッジの一部について、当該通貨に関する為替予約取引ではなく、別の通貨に関する為替予約取引（いわゆるクロスヘッジ）を使って行なうこともあります。
分配方針	毎決算時、原則として分配対象額のなかから、基準価額水準、市況動向などを勘案して分配を行なう方針です。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないこともあります。

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位:%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	1.6	42.1	59.8	62.7	5.4	14.8	21.5
最小値	△ 7.8	△ 11.4	△ 12.4	△ 19.4	△ 5.5	△ 6.1	△ 8.8
平均値	△ 1.2	9.9	17.3	8.0	△ 0.7	4.1	5.6

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2019年3月から2024年2月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数 (TOPIX、配当込)

先進国株：MSCI-KOKUSAIインデックス (配当込、円ベース)

新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込、円ベース)

日本国債：NOMURA-BPI国債

先進国債：FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースィファイド (円ヘッジなし、円ベース)

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

指数について

●東証株価指数 (TOPIX、配当込) は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、株式会社 J P X 総研又は株式会社 J P X 総研の関連会社に帰属します。●MSCI-KOKUSAIインデックス (配当込、円ベース) は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。●MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込、円ベース) は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。●NOMURA-BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社は、対象インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、対象インデックスを用いて行われる日興アセットマネジメント株式会社の事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。●FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース) は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、当指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。●JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースィファイド (円ヘッジなし、円ベース) は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2024年3月5日現在)

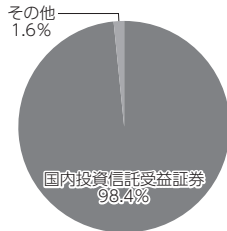
○組入上位ファンド

銘柄名	第90期末
	%
PIMCOバミューダフォーリン・ロー・デュレーション・ファンド	59.6
PIMCOバミューダU.S.ロー・デュレーション・ファンド	38.8
組入銘柄数	2銘柄

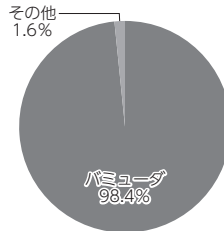
(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

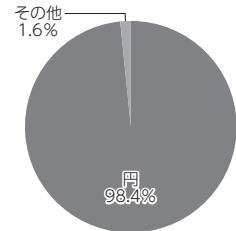
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) 国内投資信託受益証券には外国籍(邦貨建)の受益証券を含めております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

純資産等

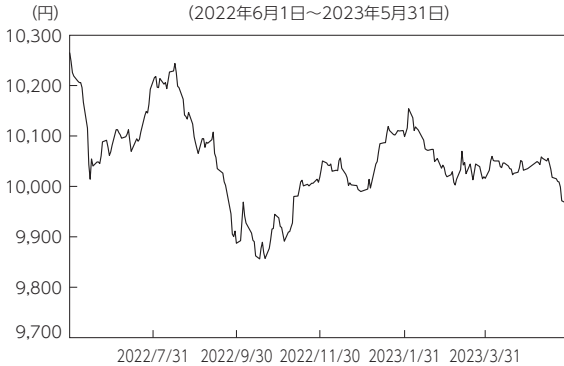
項目	第89期末	第90期末
	2023年12月5日	2024年3月5日
純資産総額	6,241,319,762円	6,155,263,162円
受益権総口数	6,710,995,978口	6,586,481,054口
1万口当たり基準価額	9,300円	9,345円

(注) 当作成期間(第89期~第90期)中における追加設定元本額は53,388,531円、同解約元本額は309,409,066円です。

組入上位ファンドの概要

PIMCOバミューダフォーリン・ロー・デュレーション・ファンド

【基準価額の推移】



(注) グラフは分配金再投資基準価額です。

【1万口当たりの費用明細】

(2022年6月1日～2023年5月31日)

当該期間の1万口当たりの費用明細については開示されていないため、掲載していません。

【組入上位10銘柄】

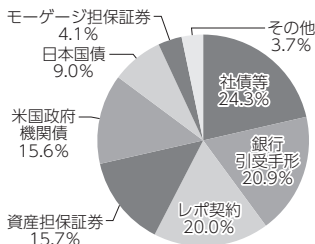
(2023年5月31日現在)

	銘柄名	業種 / 種別等	通貨	比率
				%
1	DEU 06/01/2023	レポ契約	アメリカドル	20.0
2	日本国債 (0.190%) due 07/18/2023	日本国債	日本円	7.7
3	Fannie Mae, TBA 3.500% due 07/01/2053	米国政府機関債	アメリカドル	6.9
4	Fannie Mae, TBA 5.000% due 07/01/2053	米国政府機関債	アメリカドル	6.3
5	Toronto-Dominion Bank 4.701% due 06/01/2023	銀行引受手形	カナダドル	5.3
6	HSBC Bank PLC 4.832% due 06/26/2023	銀行引受手形	カナダドル	5.2
7	Bank of Nova Scotia 4.730% due 07/10/2023	銀行引受手形	カナダドル	5.2
8	Canadian Imperial Bank of Commerce 4.806% due 07/21/2023	銀行引受手形	カナダドル	5.2
9	Saranac CLO VI Ltd. 6.294% due 08/13/2031	資産担保証券	アメリカドル	2.5
10	Navient Student Loan Trust 6.188% due 12/27/2066	資産担保証券	アメリカドル	1.6
	組入銘柄数		134銘柄	

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

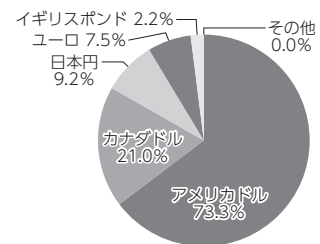
【資産別配分】



【国別配分】

必要な情報が開示されていません。

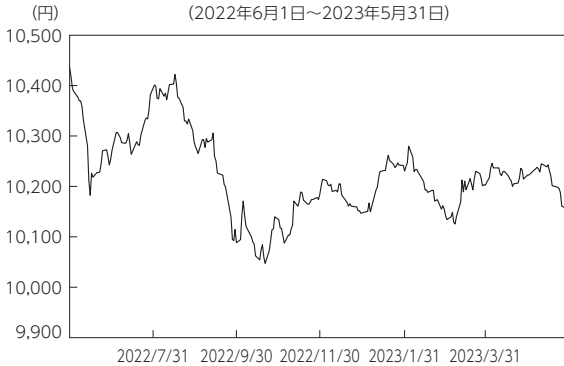
【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

PIMCOバミューダ U.S. ロー・デュレーション・ファンド

【基準価額の推移】



(注) グラフは分配金再投資基準価額です。

【1万口当たりの費用明細】

(2022年6月1日～2023年5月31日)

当該期間の1万口当たりの費用明細については開示されていないため、掲載していません。

【組入上位10銘柄】

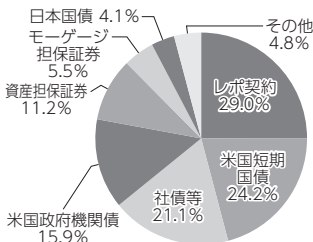
(2023年5月31日現在)

	銘柄名	業種 / 種別等	通貨	比率
				%
1	TDM 06/01/2023	レポ契約	アメリカドル	29.0
2	米国短期国債 5.335% due 09/26/2023 (d)	米国短期国債	アメリカドル	24.2
3	Fannie Mae, TBA 5.000% due 07/01/2053	米国政府機関債	アメリカドル	6.5
4	Fannie Mae, TBA 3.500% due 07/01/2053	米国政府機関債	アメリカドル	5.5
5	日本国債 (0.196%) due 08/28/2023	日本国債	日本円	2.7
6	Saranac CL0 VI Ltd. 6.294% due 08/13/2031	資産担保証券	アメリカドル	2.2
7	Fannie Mae, TBA 4.500% due 07/01/2053	米国政府機関債	アメリカドル	1.6
8	Navient Student Loan Trust 6.188% due 12/27/2066	資産担保証券	アメリカドル	1.6
9	Marvell Technology, Inc. 1.650% due 04/15/2026	社債等	アメリカドル	1.5
10	Fannie Mae, TBA 3.000% due 07/01/2053	米国政府機関債	アメリカドル	1.5
	組入銘柄数		111銘柄	

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

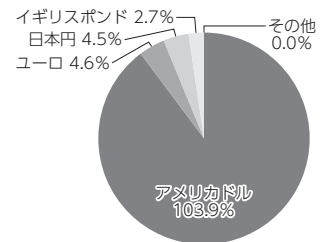
【資産別配分】



【国別配分】

必要な情報が開示されていません。

【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。